

## ファッション：時代を着る



©The Kyoto Costume Institute

会期：2011年6月25日～9月4日

会場：熊本市現代美術館

主催：熊本市、熊本市美術文化振興財団、

公益財団法人京都服飾文化研究財団、熊本日日新聞社、熊本放送  
キュレーション：

桜井武（熊本市現代美術館）

深井晃子（京都服飾文化研究財団）

### 概要

「ファッション」はそのきらめきや輝かしさにおいて私たちを高揚させると同時に、常にその時代における新たな存在への変容を喚起し、来たるべき時代を生き抜くためのコスチュームとして発展してきました。

本展はKCIコレクションを中心に、20世紀初頭から現代におけるファッション史を通覧しました。19世紀末のヨーロッパを代表するメゾン、ウォルトにはじまり、シャネル、ディオール、サンローラン、カルダンなどのパリ・オートクチュール作品。20世紀末、世界の注目を集めた日本のイッセイ・ミヤケ、ヨウジ・ヤマモト、コム・デ・ギャルソン。そして新世代のフセイン・チャラヤンから、今後活躍が期待される気鋭の日本の若手デザイナーまで、本展は、いわばファッションの「王道」を過去から未来へとたどる展覧会でした。

### 出展内容

衣装：	85点
靴、コルセット：	19点
合計：	104点

### 出品レーベル/作家

アズディン・アラリア、イッセイ・ミヤケ、イヴ・サンローラン、ヴィヴィアン・ウエストウッド、ウォルト、クリスチャン・ディオール、クレージュ、クロエ、グッチ、コム・デ・ギャルソン（川久保玲）、シャネル、ジャック・ファット、ジャン＝ポール・ゴルチエ、ジャンヌ・ランヴァン、ジュンヤ・ワタナベ、ジョルジオ・アルマーニ、ジバンシィ、スキヤパレリ、セディシヨナリーズ、ソニア・リキエル、ダニエル・エシュテル、ティエリー・ミュグレー、トキオ・クマガイ、ドロテビス、パコ・ラバンヌ、バルマン、ピエール・カルダン、ピバ、ピュロ、フセイン・チャラヤン、ブラダ、ポール・ポワレ、まとふ（堀畑裕之、関口真希子）、マドレーヌ・ヴィオネ、マリア・モナチ・ガレンガ、マリアノ・フォルチュニイ、ミキオサカベ（坂部三樹郎、シュエ・ジェンファン）、ミントデザインズ（勝井北斗、八木奈央）、ヨウジ・ヤマモト、レイ・ヴィトン、ルディ・ガンライヒ、ロメオ・ジリ、など